

大震災・復興ニュース（第20報）

平成23年9月2日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物についての放射性物質測定結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年8月29・30日
- 2 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼による）
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り，安全性に問題がないことが確認された。

水産物（採取日 平成23年8月23～30日）（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ゴマサバ	女川沖	不検出	4
スズキ	仙台湾	不検出	24
コタマガイ	閑上沖	不検出	不検出
カタクチイワシ	仙台湾	不検出	不検出
アユ（天然）	阿武隈川	不検出	95

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

漁港の応急復旧状況

荒浜漁港の海岸堤防の南堤防については，胸壁背後の深掘れ箇所の埋め戻しを完了，盛土工事（約300m）に着手した（右写真）。

<トピックス>

塩釜漁港に避難船が集結

台風12号の接近に伴い，塩釜漁港に延縄船，旋網船，沖合底曳船など様々な漁船が避難している。

特に海外旋網船（右写真：北勝丸，第二たいよう丸，第八十三惣宝丸，第八十八惣宝丸）が並んで停泊している様子はこれまで見られなかった風景である。

塩釜漁港（-6m岸壁から籬地区まで）に避難している船は2日現在で82隻である。

台風は4日に当県に最接近する見込みであり，波浪や高潮，強風などに注意が必要である。



亘理支所に各種鮮度保持施設が完成

亘理支所前の魚市場前岸壁に砕氷製造装置，冷凍冷蔵庫が完成し，9月1日に落成式が行われた。

これらは末日聖徒イエス，キリスト教会の支援によるもので，施設の能力は砕氷製造装置は日産3.5t，冷凍冷蔵庫は-5～-15となっている。

砕氷は冷凍庫に一時保管し，出漁時に漁船に積んで漁獲物の鮮度保持に活用され，冷蔵庫は水揚げ魚の保管用に用いられる。

そのほかに，仙台卸売市場への搬入のための保冷車など車両3台の寄付もあった。



砕氷製造装置・冷凍冷蔵庫

災害復旧応援職員の紹介

漁港の災害復旧の応援のため，兵庫県から福山直寿主任主査と信川憲史課長補佐が当部に参りました。

「兵庫県庁漁港課より，9月1日付け宮城県仙台地方振興事務所に派遣となりました福山でございます。

兵庫県では平成7年阪神大震災において漁港が大変な被害を受けました。しかし，全国からの暖かい支援をもちまして迅速な復旧を行うことができました。その際，特に東北の自治体職員の総力を挙げた応援があつてのことと聞いています。今回は兵庫県がお返しをする番です。微力ですが精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。」



福山直寿さん

「9月1日から1ヶ月間，宮城県仙台地方振興事務所にお世話になることになりました兵庫県姫路農林水産振興事務所の信川です。

阪神淡路大震災時には，他府県から多数の応援を頂き，早期に復旧復興することができました。

そのお礼といつては何ですが，東北の早期の震災復旧に少しでも役に立てるようこれまでの経験を活かして頑張りたいと思います。」



信川憲史さん